令和８年度第１回福岡県ワンヘルス推進協議会
議事録

日時：令和８年６月２９日（月）
１４：００～１５：３０
会場：福岡県中小企業振興センター
２階ホール

１　開会

司会（ワンヘルス総合推進課）

定刻となりましたので、ただ今から、令和８年度第１回福岡県ワンヘルス推進協議会を開催いたします。

私は、本日の司会を務めます福岡県保健医療介護部ワンヘルス総合推進課の木部と申します。

最初に、配付資料の確認をさせていただきます。着座にて説明させていただきます。

・「次第」
・「配席図」
・「出席者名簿」
・「資料１　令和７年度ワンヘルス推進行動計画実施状況報告について」
・「資料２　第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について」
・「資料３　ワンヘルス未来会議について」
・「福岡県ワンヘルス推進協議会委員名簿及び設置要綱」
・「福岡県ワンヘルス推進行動計画」の冊子

この行動計画の冊子は会場参加者のみ配付しております。会議終了後に回収させていただきます。

配付資料は、以上となります。

会場参加の方で不足のある方がいらっしゃいましたらお申し出ください。係の者が伺います。

なお、本日お配りしています資料に訂正がございますのでご説明させていただきます。

最初に、資料１「令和７年度ワンヘルス推進行動計画実施状況報告について」の５ページをお開きください。

指標の上から２番目と６番目にございます「食品営業施設等への監視指導実施率」でございますが、この指標の右端の現状値が「108.9%」となっていますが、「102.0%」に修正をお願いいたします。

この数字が他にも４箇所ございまして、資料１の参考別冊としてお配りしています「令和７年度ワンヘルス推進行動計画実施状況報告」をお開きください。
こちらの１０ページと１４ページの目標指標の進捗において、「食品営業施設等への監視指導実施率」の記載がございます。
こちらも同様に「108.9%」を、「102.0%」に修正をお願いいたします。

次に、６ページの上から五つ目の枠に「食中毒予防対策」、「食品営業施設等への監視指導の実施」がございます。
こちらの枠の中の「監視率実績」が「108.9%」となっていますので、同様に「102.0%」に修正をお願いいたします。

最後に、この６ページの再掲が１２ページの上から五つ目の枠「食品衛生対策の推進」の中の「食品営業施設等への監視指導の実施（再掲）」についても「108.9%」を「102.0%」に修正をお願いいたします。

訂正は以上となります。

ＷＥＢ参加の皆様におかれましては、説明の際、資料を画面共有させていただきます。
資料についてはよろしいでしょうか。

続いて、ＷＥＢ参加の皆様に、注意事項を申し上げます。
ご発言時以外は、マイクはミュートの状態でお願いします。会議中のご発言・ご質問につきましては、事務局からの説明後に時間を設けますので、その際にお願いいたします。
ご発言等を希望される方は、挙手いただくか、ミュートを解除して発言がある旨をお伝えください。議長又は事務局が指名しましたら、ご所属とお名前をおっしゃっていただき、ご発言ください。ご発言が終わられましたら、ご自身でマイクをミュートに戻していただくようお願いします。
なお、ご発言時以外にマイクのミュートが解除されている場合は、事務局側でミュート操作させていただくことがございますので、ご了承ください。

２　委員紹介

司会（ワンヘルス総合推進課）

次に、次第の 2、委員の紹介及び副会長の選出に進ませていただきます。

前回より委員の交代が 4 名ございますので、ご紹介いたします。

公益社団法人福岡県医師会平田泰彦会長でございます。

九州大学病院グローバル感染症センター三宅典子センター長でございます。

福岡県保健医療介護部牟田口徹部長でございます。

福岡県教育庁田中直喜副教育長でございます。

その他の委員の皆様のご紹介は割愛させていただきます。

ご出席者につきましては、配付しております出席者名簿にてご確認ください。

続きまして、副会長の選出を行います。

副会長でありました福岡県医師会会長　蓮澤委員が、このたび委員を辞職されたことに伴い、副会長を選出する必要があります。

福岡県ワンヘルス推進協議会設置要綱第 5 条第 2 項の規定によりますと、「会長及び副会長は、委員の互選とする」となっております。

選出方法について、皆さまから特にご意見がないようでしたら、事務局からの推薦を考えておりますがいかがでしょうか。

ご意見のある方は挙手又は発言をお願いします。

ご異議がないようですので、事務局から推薦させていただきます。

副会長については、平田委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

ご異議がないようですので、平田委員に副会長をお願いしたいと存じます。

それでは、平田副会長は、職員がご案内いたしますので席の移動をお願いします。

3　会長挨拶

司会（ワンヘルス総合推進課）

続きまして、次第の 3　会長挨拶に進ませていただきます。

横倉会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

横倉会長

みなさんこんにちは、会長を務めております、横倉でございます。

会議に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ、福岡県ワンヘルス推進協議会にご出席をいただきまして本当にありがとうございました。

また、委員の皆様には、日頃から、ワンヘルスの推進について、ご協力を賜り、深く御礼を申し上げます。

このワンヘルスの概念ですが、もう皆様ご承知のことと思いますが、1860 年代に、ドイツの病理学者ウィルヒョウの人獣共通感染症の考え方に端を発しています。

2004 年にニューヨークで開催されたマンハッタン原則で、人獣共通感染症の制圧のために生態系の健全性維持には、多くの領域的、横断的な取組、ワンヘルスアプローチが必要であると提唱されました。

これにより、ワンヘルスというものが明確化されたと思います。

近年、世界では、新興感染症、薬剤耐性菌、気候変動と、食料安全保障などの、国境を超えた環境課題が深刻化しております。

その中で、医学、獣医学、さらには環境科学が連携をする、「ワンヘルス」の考え方は、世界共通の重要な理念となっています。

本年の 4 月 7 日、世界保健デーに合わせて、ワンヘルスサミットがフランスのリヨンで開催されました。

そこでは、ワンヘルスアプローチの実施を加速させるため、世界中の政府首脳による議論が行われたわけであります。

その中で、G7 の議長でワンヘルスサミットの議長であります、フランスのマクロン大統領が、ワンヘルスサミットの開催目的は、国際社会、国、地方、地域といった、あらゆるレベルで効果的なワンヘルスアプローチを促進することを目指すことと述べられていました。

ワンヘルスの取組というものは、地球の未来を救う大きな運動になっているのではないかと、大変今、感慨深いものがあるというわけであります。

さて、今年度は、第 1 次福岡県ワンヘルス推進行動計画の最終年度に当たるわけであり、第 2 次行動計画は、今年度策定されるというわけであります。

本日の会議においても、第 2 次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について、説明があります。

委員の皆様におかれましては、それぞれの立場から、忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げてご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

4　議事

司会（ワンヘルス総合推進課）

それでは、次第の４　議事　に進ませていただきます。

本協議会設置要綱第７条に基づき、会議は会長が議長を務めることになっておりますので、ここからの進行は、横倉会長にお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

横倉会長

それでは、しばらく進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

議事の円滑な進行につきまして、ご協力の程よろしくお願いします。

それでは、次第に沿って、議事を進めてまいります。

（１）令和７年度ワンヘルス推進行動計画実施状況報告について

横倉会長

まず、議事（１）「令和７年度ワンヘルス推進行動計画実施状況報告について」、事務局から説明をお願いいたします。

事務局長（ワンヘルス総合推進課長）

福岡県ワンヘルス総合推進課長を務めております、宮嵜と申します。着座にてご説明をさせていただきます。

それでは、（１）「令和７年度ワンヘルス推進行動計画実施状況報告について」ご説明をいたします。

実施状況報告については、本体を別冊としてお配りいたしております。

この報告書は、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」第１２条、及び「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」第２９条により、毎年度、行動計画に基づき県が実施しました施策等の状況を公表するものとなっています。

本日は、行動計画に定める重点施策の実施状況を記載した資料１によりご説明いたします。

それでは、柱１の人獣共通感染症対策からご説明します。

（１）「愛玩動物の病原体保有状況調査」についてです。
レプトスピラ症は動物病院に来院した疑い症状のある犬、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は動物愛護センターに来所した犬猫から検体を採取し、レプトスピラ菌及びSFTS ウイルスの抗体・遺伝子検査等を実施しました。結果ですが、レプトスピラ菌は犬９頭を検査し、３頭が抗体検査陽性、SFTS ウイルスは、犬９頭、猫 17 頭の計 26 頭を検査し、犬３頭、猫１頭が抗体検査陽性でした。

続いて、柱２の薬剤耐性菌対策についてご説明します。
（１）「愛玩動物及び河川水における薬剤耐性菌の動向調査」についてです。
令和７年度は、愛玩動物及び河川水におけるこれまでの調査結果及び今後の調査について幅広い意見を聴取するため、外部専門家会議を開催しました。
専門家の皆様からは、県内のデータを蓄積し、精査することが薬剤耐性対策の推進につながるといったご意見をいただきましたので、今後の事業について検討してまいります。

続いて、柱３の環境保護についてご説明します。
まず、（１）「大気・水環境の常時監視」についてです。
２ページをお願いいたします。

大気環境については、県が設置した 14 の大気常時監視測定局において大気汚染物質の測定を行い、その結果をホームページで公表しました。
水環境については、水質汚濁の代表的指標として、河川では BOD（ビー・オー・ディー）、海域や湖沼では COD（シー・オー・ディー）を測定しました。

次に、（２）「石綿飛散防止」についてです。
327 件の解体等工事現場への立入検査を実施したほか、工事現場周辺における大気モニタリング調査を実施しました。
続いて、柱４の人と動物の共生社会づくりについてご説明します。

まず、（１）「犬猫の引き取り数抑制・譲渡促進事業」についてです。

地域猫活動の推進については、16 市町村にて 732 頭の不妊去勢手術を行いました。
また、飼養継続に困難を感じている飼い主にアドバイザーを派遣し、譲渡や不妊去勢手術につなげ、引取りを抑制しました。
その他、動物愛護センターのホームページ、ＳＮＳでの情報発信により譲渡促進につなげました。

次に、（２）「野生動物との棲み分けを図る里山林（さとやまりん）の整備」についてで

す。

令和７年度は、八女市、うきは市、糸島市、岡垣町に、新たに直方市、久山町、築上町を加えた計７市町において、緩衝地帯の整備を実施しました。

３ページをお願いいたします。

続いて、柱５の健康づくりについて、ご説明します。
まず、（１）「ワンヘルスの森づくり」についてです。

令和７年度は、ワンヘルスの説明や森を案内できるガイドを派遣し、森林浴の体験ツアーを実施するとともに、「ワンヘルスの森　四王寺フェスタ」を開催し、バードウォッチングや紅葉のライトアップイベントなどを実施しました。参加者からは大変好評をいただいております。

次に、（２）「アニマルセラピーによる健康づくり」についてです。

令和７年度は、福岡県馬術競技場において、２つの学校を対象にホースセラピーを実施し、24 名の児童に参加いただきました。

続いて、柱６の環境と人と動物のより良い関係づくりについて、ご説明します。

（１）「農林漁業の応援団づくりにより地産地消を推進」についてです。
「地産地消応援ファミリー」については、各種イベントでの登録の誘導や、包括連携協定を締結している企業等に対して社員への登録を推進しました。
また、「地産地消応援の店」については、SNS を活用した PR や他の登録制度との連携を通じて登録を推進しました。
加えて、「応援の店」での県産食材の利用拡大のため、県産食材の生産状況を視察する県産食材産地ツアーを開催しました。

４ページをお願いいたします。

最後に、柱７のワンヘルス実践の基盤整備について、ご説明します。

まず、（１）「ワンヘルス教育の推進」についてです。
令和７年度は、ワンヘルス教育推進委員会を年間３回開催し、実践協力校等の取組やワンヘルス教育推進教員研修会等、ワンヘルス教育に関する協議を実施しました。

全ての県立高校においてワンヘルス教育推進教員を指定し、研修会を開催するとともにワンヘルス教育指導計画を立案の上、授業や学校行事等でワンヘルス教育を実施しました。
このほか、県のワンヘルス関連行事などで実践協力校やモデル校が、好事例の普及・啓発を行いました。

最後に、（２）「世界トップクラスの研究者等による国際会議の開催」についてです。

令和８年２月に「第６回福岡県ワンヘルス国際フォーラム」を開催し、世界医師会のジャクリーン・キトゥル会長はじめ５名の専門家の皆様に講演いただき、会場で 195 人、オンラインで 96 人に参加いただきました。

重点施策の実施状況については、以上でございます。
引き続き、資料の５ページをお願いいたします。

目標指標の進捗についてご説明します。
計画の点検・評価の指標として、７つの柱それぞれに数値目標を設置しています。

最初に、柱１「人獣共通感染症対策」でございます。

まず、「飼養衛生管理基準に基づく畜産農場巡回指導実施率」です。
目標値１００％に対し、目標どおり１００％となっています。

次に、「食品営業施設等への監視指導実施率」です。
目標値１００％に対し、１０２．０％となっています。
福岡県食品衛生監視指導計画で定める計画監視回数を上回る監視指導を行ったため、１００％を超える実施率となっています。

次に、「動物に触れる際に感染防止に取り組んでいる県民の割合」です。
県政モニターアンケート制度を活用し、動物に触れた後の手洗いの実施などの対策をとっている人の割合について調査を行いました。
目標値１００％に対し、７５．５％となっています。

続いて、柱２「薬剤耐性菌対策」でございます。

まず、「国の院内感染サーベイランス事業への参加率」です。
目標値が全国平均以上であり、令和７年度は、全国平均４４．３％に対し、
４０．２％となっています。

次の２つの指標については、「人獣共通感染症対策」の再掲となりますので省略させていただきます。

続いて、柱３「環境保護」でございます。

まず、「生物多様性プラットフォーム（ホームページ）アクセス数」です。
目標値３８４，２００件に対し、３１２，２６７件となっています。

次に、「農地等の維持・保全に取り組む面積」です。
目標値は４２，１８０ha ですが、現状値は集計中であり、７月頃に確定する予定です。

次に「温室効果ガスの総排出量の削減率」です。
最新のデータである 2023 年度（令和５年度）の総排出量の削減率は、基準年度の 2013（平成 25）年度比で３５．２％減少しました。

次に「再生可能エネルギー発電設備導入容量」です。
目標値は４０５万 kW ですが、現状値は集計中であり、８月頃に確定する予定です。

６ページをお願いいたします。

次に、「環境基準の達成率」です。
環境基準項目は、すべて集計中であり、１２月頃に確定する予定です。

続いて、柱４「人と動物の共生社会づくり」でございます。

まずは、「災害時における愛玩動物の同行避難等に係る規定を整備している市町村数」です。
目標値６０市町村に対し、５９市町村となっています。

次に、「有害鳥獣の捕獲者数」です。
目標値３，１００人に対し、３，３２３人となっています。

続いて、柱５「健康づくり」でございます。

まず、「平尾台自然観察センターの入館者数」です。
目標値４４，０００人に対し、３４，６３７人となっています。

次に、「「ワンヘルスの森」来場者数」です。
目標値である令和４年度から５か年の累計１４０万人に対し、１０９万９千人となっています。

続いて、柱６「環境と人と動物のよりよい関係づくり」でございます。

まず、「国際水準 GAP（ギャップ）の認証取得数」です。
目標値、累計６０件に対して、５４件となっています。

次に、「ワンヘルス実践に取り組む経営体数（農林漁業）」です。
目標値、累計１２，０００経営体に対し、１１，６３９経営体となっています。

次に、「中山間応援サポーター活動への参加者数」です。
目標値２４０人に対し、２２１人となっています。

７ページをお願いいたします。

次に、「ふくおか地産地消応援の店の数」です。
目標値、累計 2,200 店に対し、1,948 店となっています。

最後に、柱７「ワンヘルス実践の基盤整備」でございます。

まず、「ワンヘルスの認知率」です。
県政モニターアンケート制度を活用して、「ワンヘルス」という言葉を知っている、聞いたことがあるという人の割合について調査を行いました。
目標値７０％に対し、７８．９％となっています。

次に、「ワンヘルス宣言事業者登録数」です。
目標値、累計１３，５００件に対し、１２，２２６件となっています。

最後に、「高等学校におけるワンヘルス教育の実施率」です。
目標値１００％に対し、８５．８％となっています。

説明は、以上でございます。

横倉会長

はい、ありがとうございました。

令和７年度ワンヘルス推進行動計画の実施状況について、今、資料に基づいて説明をいただきました。

７つの柱についてそれぞれご説明いただきました。

何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

無いようでしたら、次に進みます。

また、質問がありましたら後ほど伺います。

（２）第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について

横倉会長

続きまして、議事（２）「第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について」、事務局から説明をお願いします。

事務局長（ワンヘルス総合推進課長）

それでは、（２）「第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について」、ご説明いたします。

資料２「第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について」をお願いいたします。

１　第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定でございます。

本県では、令和２年１２月に議員提案により、全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、県民及び動物の健康、環境の健全性を一体のものとして守り、その活動を次世代に継承していくため、６つの基本方針を示しています。

令和４年３月に、この基本方針を着実に進めていくため、第１次となる「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定しました。

第１次行動計画の計画期間は、令和４年４月から令和９年３月までとなっており、今年度が最終年度にあたるため、第２次行動計画を策定します。

２　計画策定の考え方でございます。

第２次行動計画には、今後５年間で行う施策を体系的に整理・記載するとともに、県民に期待する行動を具体的に示します。

また、毎年、計画に基づく施策の取組状況や成果を点検・評価して公表します。

３　計画の位置付けでございます。

今年度策定される次期福岡県総合計画を踏まえ、感染症予防計画、環境総合ビジョンなど、各分野の関係計画との整合を図ります。

４　計画期間でございます。
計画期間は、令和９年度から令和１３年度までの５年間とします。

２ページをお願いいたします。

５　計画策定委員会の設置でございます。
第２次行動計画の策定にあたりまして、県民がワンヘルスを実践する上で、わかりやすい計画とするため、学識経験者、県民、事業者等で構成する「福岡県ワンヘルス推進行動計画策定委員会」を、福岡県ワンヘルス推進協議会の部会として設置したいと考えています。
委員は１５名以内とし、任期は委嘱の日から令和９年３月３１日までとします。

６　策定スケジュールでございます。
計画策定委員会を設置しましたら、７月と１０月に計画策定委員会を開催し、計画骨子及び計画素案について協議します。
１１月には、第２回推進協議会を開催し、計画策定委員会で協議した行動計画の策定状況について中間報告を行った後、意見公募（パブリックコメント）を実施します。
その後、パブリックコメントの結果を踏まえ、計画案を作成し、第３回計画策定委員会と推進協議会を経て、２月議会に議案として提出し、年度内に公表する予定としております。

説明は、以上でございます。

横倉会長
はい、ありがとうございました。
ただいま、「第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について」事務局から説明いただきました。
その中で、ワンヘルス推進協議会の部会として計画策定委員会を設置したいとのことでした。
この件について何かご意見はありますか。
ご意見、ご質問が無いようでしたら、次に進みます。

（3）ワンヘルス未来会議について

横倉会長

続きまして、議事（3）「ワンヘルス未来会議について」、事務局から説明をお願いします。

事務局長（ワンヘルス総合推進課長）

それでは（3）「ワンヘルス未来会議について」、ご説明いたします。

「資料3」1ページをお願いいたします。

1　「ワンヘルス未来会議について」でございます。

（1）設置目的でございます。

ワンヘルスとは何かわからない、具体的に何をしてよいのかわからない、といった県民の皆様からの声があることから、身近なワンヘルスの取組を話し合い、県民が自分ごととしてワンヘルスに取り組むようになるための提案を県に行っていただくための会議となっております。

（2）会議の概要でございます。

福岡県ワンヘルス推進協議会設置要綱第8条に基づき設置しています。

調整役は、本日も本協議会の委員としてご出席いただいております福岡教育大学　伊藤克治 教授にお願いし、未来会議全般の企画・運営についてご助言いただくとともに、会議ではファシリテーターを務めていただきました。

未来会議の委員は、幅広い県民の意見を取り入れるため、２０名を公募の上、選定いたしました。内訳は表の通りとなっております。半数の１０名が未来を担う学生の皆様となっております。

委員２０名は、学生2名、社会人2名の計4名ずつの5グループに分かれ、グループワークを行っていただきました。

また、委員とは別にオブザーバーとして自治体職員4名にご参加いただきました。

2　「会議の開催内容」でございます。

3月２３日に開催しました本協議会におきまして、未来会議の委員の方から、中間報告をさせていただきました。

その後、4月１９日の第5回会議で県への提案内容を完成させ、オブザーバーを含む6つのグループから、5月２９日に知事に直接提案をいただきました。

「資料3」2ページをお願いいたします。

３　「未来会議からの県への提案内容」でございます。
第１グループは、動物に触れる前と後は手を洗おう！
第２グループは、「ワンヘルヒン」（ワンヘルス認証商品）を食べよう
第３グループは、「てまえどり」を実践しよう！
第４グループは、地元の食材を食べよう！
第５グループは、ペットボトルキャップを回収する
オブザーバーグループは、ゴミの分別を徹底しよう
となっています。
「資料３」３ページ以降に提案内容のスライドを掲載しておりますので御確認をお願いします。

４　『未来会議から提案を受けた取組」の展開について』でございます。
（１）県主催イベント「未来への一歩“ワンヘルスアクション”」の開催　でございます。
「未来会議から提案を受けた取組」を県民の皆様にわかりやすく伝え、日常生活において自分ごととして積極的に実践いただくため、１１月３日に県営天神中央公園で、１１月２８日に九州芸文館でそれぞれイベントを開催します。

（２）市町村及びワンヘルス宣言事業者の取組を支援でございます。
「未来会議から提案を受けた取組」を各自治体でどのように展開し、活動できるかを話し合う市町村研修会を今月２６日に開催しました。
また、「未来会議から提案を受けた取組」を市町村及びワンヘルス宣言事業者が県民と一緒に取り組む実践活動費用の一部を支援する補助制度を創設します。

（３）関係課における事業の検討でございます。
「未来会議から提案を受けた取組」を県民の皆様に取り組んでいただくため、関係課は事業を検討します。

説明は以上でございます。

横倉会長
はい、ありがとうございました。
ワンヘルス未来会議についてご説明がありました。
伊藤先生、何かございましたらお願いします。

伊藤委員
はい、ただいま事務局からご説明がありました際に話に出ましたが、私が福岡教育大学の

伊藤です。
コーディネーター、ファシリテーターとして参加しました。
昨年度の３月２３日にこの推進協議会で中間報告という形で各グループから報告させていただきました。
その後はご意見等を踏まえて、内容を整えて５月２９日に知事に直接提案をしております。
先ほど事務局からご説明がありましたが、２ページにありますように、県民の皆様が自分事として取り組むということで、こういった内容が、そして、ここにはありませんが、どのように伝えるか、伝え方も含めて提案しております。
今後はこれを展開するということで、先ほど事務局から説明がありましたように、先週金曜日に市町村職員研修会、そして、ワンヘルスマスターの方、県庁の方にもお集まりいただいた研修会で、ワークショップという形で開催したところでございます。
これをきっかけに今後、さらに県内に取組が広がることを期待しております。
以上でございます。

横倉会長
どうもありがとうございました。
他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。
それでは、次に進みます。

（４）今後の予定について

横倉会長
それでは、議事（４）今後の予定について、事務局から説明をお願いします。

事務局長（ワンヘルス総合推進課長）
今後の予定ですが、令和８年１１月頃に、第２次福岡県ワンヘルス推進行動計画の策定について中間報告を予定しております。

以上でございます。

横倉会長
次の会議が１１月頃ということで、また事務局から通知があるということですね。
何か追加で発言があればお願いします。
予定していた議事は以上となりますけれども、全体を通しまして何かご意見があればと思いますがいかがでしょうか。

では、他にないようですので、以上を持ちまして、本日の議事を終了したいと思います。事務局におかれましては、各委員のご意見を参考に、今後の事業、取組の推進にご尽力をいただきたいと思います。

皆様、御協力ありがとうございました。それでは事務局にお願いします。

5　閉会

司会（ワンヘルス総合推進課）

委員の皆様方、ありがとうございました。

最後に事務連絡です。本会場にご出席の委員の皆様にお配りした資料のうち、行動計画の冊子については、机上に置いてお帰りください。

これをもちまして、令和８年度第１回福岡県ワンヘルス推進協議会を閉会いたします。

本日は、誠にありがとうございました。